

**第2回執行委員会（持ち回り）で新型コロナ・基本農政対策など今後の対応を提示**

道農連は4月17日開催予定の第2回執行委員会を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、資料送付による持ち回り会議とした。新型コロナウイルス対策の今後の対応や、基本農政対策をめぐる情勢と政策提言項目のたたき台、業態別の政策提言組織討議案のたたき台などを提示した。

新型コロナ対策については、農業への影響が懸念されていたことから主要の農水委員等に対し要請を2度行った（文書送付）ことを報告。今後は、農畜産物の需要減少や春耕期の労働力確保などの問題も顕在化していることから、関係機関と連携し対応を図るとした。また、基本農政対策では、国際貿易協定対策や農業・農協改革対策のほか、新たな基本計画の実効性確保を図る施策の充実などを求めることとした。なお、提言項目のたたき台では、①国際貿易協定における国境措置の確保、②新たな基本計画に基づく具体的な施策の構築などを提示した。

一方、業態別対策は、組織討議案のたたき台を提示し、今後は第2回対策委員会などを踏まえ、6月30日の第3回執行委員会で提言項目を最終決定する。

「新型コロナウイルス対策に関する連絡会議」で被害状況を報告

道農連は、4月16日に道農政部主催の「新型コロナウイルス対策に関する連絡会議」に参加し、施設園芸農家等の被害状況事例を報告した。

併せて、農畜産物の需要回復や労働力確保対策など、各地区からの意見をまとめた要望書を道農政部に提出した。

天北地区農連第48回定期総会を開催

天北地区農民連盟（井田和明委員長）は4月16日、第48回定期総会を開催した。総会では、2020年度運動方針及び収支予算案等を承認。役員改選では、井田委員長、石堂副委員長、中島書記長を再任した。

道農業青色申告会第11回定期総会を書面議決により開催

道農連やJA道中央会等で構成する道農業青色申告会（会長：中原浩一道農連書記長）は4月21日、第11回定期総会を新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面議決による総会を行った。提出議案は全て承認され、中原会長を再任した。

4月の活動記録（上記以外）

- 3日 道農業青色申告会事務局会議
- 7日 経営調査現地打合せ（東鷹栖）
- 8日 経営調査現地打合せ（土別）
- 14日 道農業青色申告会会計監査
- 15日 アフリカ支援米現地打合せ（由仁町）
経営調査現地打合せ（妹背牛）
- 21日 第1回てん菜・てん菜糖合理化検討委員会→新型コロナウイルスの影響により書面決議

5月の活動予定

- 1日 全道メーカー大会→新型コロナウイルスの影響により中止
- 21日 各地区事務局会議（オンライン会議）

◎詳しくは、「北海道農村新聞」（年間購読料1,800円・税込）をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局（☎011-241-5416）まで。